

ヒマワリの春出しおよび夏出し栽培における適日長時間					
[要約] <u>短日開花性を示すヒマワリ品種</u> で商品性の高い切り花長を確保するための日長時間は、 <u>春出し栽培</u> では13時間程度、 <u>夏出し栽培</u> では11時間程度が適当である。					
担当部署	園芸研究所・野菜花き部・花き花木研究室			連絡先	092-922-4364
対象作物	花き・花木	専門項目	栽培	成果分類	技術改良

[背景・ねらい]

ヒマワリは、従来は露地での6～9月出し栽培が中心であったが、短日開花性品種やF₁品種が多数育成され、需要も拡大してきたことから、パイプハウス等を利用して、周年的に栽培されるようになってきた。しかし、春出し栽培では短日条件のために茎長が短く、夏出し栽培では長日条件のために茎長が長くなるなど、切り花品質が低下しやすい。

そこで、春出しおよび夏出し栽培における最適日長時間を明らかにし、切り花品質を向上させる。

[成果の内容・特徴]

1. 「太陽」、「サンリッチオレンジ」、「サンリッチレモン」、「のぞみ」、「かがやき」、「サンビーム」、「ムーンライト」、「フロリスタン」は、春出し栽培では13時間程度、夏出し栽培では11時間程度の日長時間にすると、90cm程度の切り花長で草姿のよい切り花が得られる(表1)。
2. 上記の品種は、冬季短日低温条件、夏季長日高温条件ともに、日長時間が短いほど葉数が少なく、開花が早まる(表1)。電照による明期延長やシェードにより、日長時間を変えると草姿や収穫時期の調節が可能である。

[成果の活用面・留意点]

1. 花き栽培技術指針に登載し、ヒマワリ奇形花発生防止技術として活用できる。
2. 夏季のシェード処理は、高温になりすぎるため、夜間は被覆を開けるなど温度管理に注意する。

[具体的データ]

表1 春出しおよび夏出し栽培における日長時間と開花時の形質（平成12、13年）

品 種 名	春 出 し 栽 培						夏 出 し 栽 培					
	日長	到花 日数	葉数	茎長	花径	舌状 花数	日長	到花 日数	葉数	茎長	花径	舌状 花数
	時間	日	枚	cm	mm	枚	時間	日	枚	cm	mm	枚
太陽	10	69	11	57	73	21	10	54	25	95	79	20
	12	79	13	85	73	23	12	65	30	162	74	22
	14	134	31	215	120	41	14	85	35	199	96	30
	16	132	30	222	140	51	16	93	34	191	79	32
							自然	77	33	207	105	33
サンリッチ オレンジ	10	63	11	51	87	19	10	52	20	78	80	17
	12	66	12	57	85	20	12	60	24	119	87	20
	14	96	22	159	145	32	14	71	30	162	98	26
	16	100	23	171	141	43	16	78	28	170	105	30
							自然	71	29	167	115	28
サンリッチ レモン	10	67	11	54	88	19	10	52	21	82	85	18
	12	68	11	54	79	18	12	62	26	140	78	21
	14	102	21	174	113	40	14	72	30	171	85	27
	16	100	25	174	124	34	16	83	28	170	86	26
							自然	72	31	171	98	24
のぞみ	10	66	11	54	80	20	10	48	19	77	73	16
	12	71	12	67	82	19	12	57	23	130	86	19
	14	116	30	205	123	40	14	77	32	197	92	28
	16	109	23	190	110	43	16	89	31	196	112	27
							自然	72	29	192	108	27
かがやき	10	68	12	64	81	23	10	58	25	102	81	20
	12	76	13	90	81	24	12	68	30	169	84	23
	14	123	30	234	120	53	14	87	34	205	98	25
	16	134	27	201	101	42	16	92	33	201	94	32
							自然	79	32	210	103	33
サンビーム	10	72	12	72	75	22	10	53	23	101	84	21
	12	78	13	89	83	21	12	61	28	158	84	25
	14	128	29	209	108	32	14	81	31	196	85	29
	16	131	29	215	120	44	16	91	33	206	97	33
							自然	76	31	194	89	31
ムーンライト	10	72	13	73	77	21	10	49	16	76	47	15
	12	80	14	97	76	22	12	49	18	107	63	14
	14	134	31	215	129	41	14	68	23	179	81	20
	16	128	24	212	120	33	16	91	28	194	92	22
							自然	70	26	191	109	21
フロリスタン	10	103	17	87	97	20	10	52	17	76	63	18
	12	102	19	100	102	22	12	57	17	97	60	20
	14	117	20	120	102	30	14	65	21	117	59	19
	16	120	20	133	122	29	16	78	27	147	89	25
							自然	64	21	113	89	25

- 注) 1. 春出し栽培は2001年1月15日、夏出し栽培は2001年6月9日に播種。
 2. ガラスハウスで栽培、春出し栽培では夜間10℃に加温した。
 3. 栽植密度は、条間10cm、株間10cm、無肥料とした。
 4. 日長処理は、播種直後から収穫まで、電照による明期延長およびシェードで行った。

[その他]

研究課題名：ヒマワリの生育開花特性と奇形花防止技術
 予算区分：経常
 研究期間：平成13年度（平成11～13年）
 研究担当者：黒柳直彦、坂井康弘、國武利浩、谷川孝弘